kebkobo

スピーカースタンド type M 取扱説明書

このたびは、スピーカースタンド typeMをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

■安全上のご注意

ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、理解された上で使用してください。
各注意事項は次のように区分しています。

⚠ **警告** :誤った取扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容のご注意。

⚠ **注意** :誤った取扱いをしたときに、人が傷害を負う恐れがある内容、または物的損害が発生する恐れがある内容のご注意。

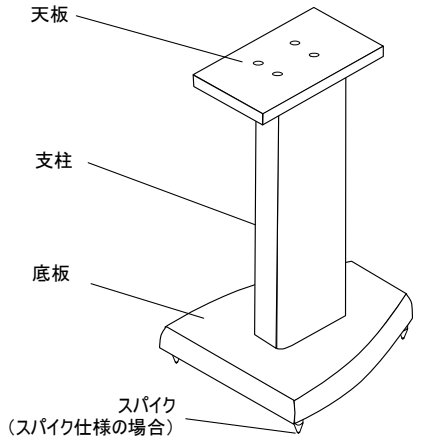
⚠ 警告

① 傾斜のある床や、機器を積載した重量に耐えられない床には設置しないでください。
② 改造やお客様による修理は絶対にしないでください。
③ 組み立て時は、お子様や作業者以外の人が近づかないようにしてください。
④ 組み立ては、壁や家具などから離れた広い場所で行ってください。
⑤ スパイクをご使用の場合は、組み立て時や搬送時にスパイクの先端でケガをしないよう注意してください。
⑥ スピーカーは落下防止のため、両面テープや両面テープ付ゴムマットなどでスタンドに固定してください。
⑦ スピーカーを載せたままスタンドを移動させると、スピーカーの落下の恐れがあり、たいへん危険です。スピーカーを取り外したのち、スタンドを持ち上げて運搬してください。

⚠ 注意

① 製品の上に乗るなど、用途以外の使用はしないでください。
② 直射日光が当たる場所や湿気・水気の多い場所での使用は避けてください。
③ ヒーターやエアコンの風が直接当たる場所での使用は避けてください。
④ スパイク仕様でスタンドを移動させる際は、接地したまま動かすと床にキズがつきます。

■各部の名称



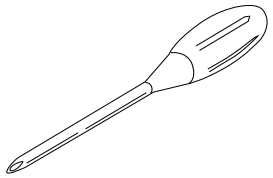
■各部品と梱包数量

品名＼仕様	標準仕様	スパイク仕様		支柱充填仕様付属品
		スパイク受け無	スパイク受け有	
天板	2	2	2	
支柱	2	2	2	
底板	2	2	2	
止めネジ(長)	8	8	8	
止めネジ(短)	8	8	8	
座金	16	16	16	
木製ピン	4	4	4	
スパイク		8	8	
スパイク調整ネジ		8	8	
スパイク用座金		8	8	
スパイク受け			8	
スパイク調整ロッド		1	1	
ジルコンサンドまたは硅砂				1式
漏斗				1
ゴム栓				2

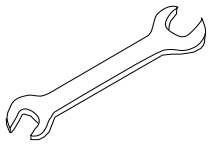
■組み立て方法

※　組み立てには以下の工具が必要となります。付属しておりませんので、お客様にてご用意ください。

・NO.3　プラスドライバー



・13mm六角スパナ（スパイク仕様の場合）



① 事故防止のため、必要に応じて組み立て作業は2人で行ってください。
② キズ防止のため、床に毛布などを敷き、その上に製品を置いて組み立てを行ってください。
③ プラスドライバーで天板を支柱に取り付けます。（図1）
　注意　支柱のネジ、穴の配置は、天板側と底板側で異なります。（図2）
④ 底板のザグリ穴（非貫通穴）に、木製ピンを差し込みます。（図3）
　注意　木製ピンがきつくて途中までしか入らないときは、ドライバーの柄などで、注意しながら軽く叩いてください。
⑤ 支柱の上下を逆にして、底板を支柱に乗せます。（図4）

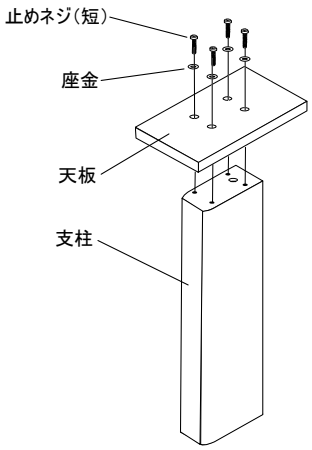
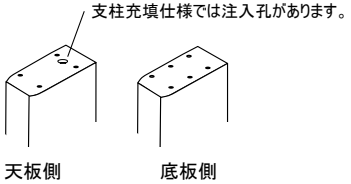


図 1



※　支柱のネジ、穴の配置は、天板側と底板側で異なりますのでご注意ください。

図 2

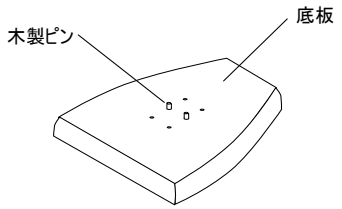


図 3

⑥ 木製ピンが支柱のザグリ穴にしっかりと挿入されていることを確認してください。
　支柱は、前面側、後面側で形状が異なりますが、どちら向きでも取付けできます。
⑦ プラスドライバーで、底板を支柱に取り付けます。（図5）
　スパイク仕様の場合は、次にスパイクを取り付けます。スパイク無しの場合は
　上下を逆に戻して作業は完了です。

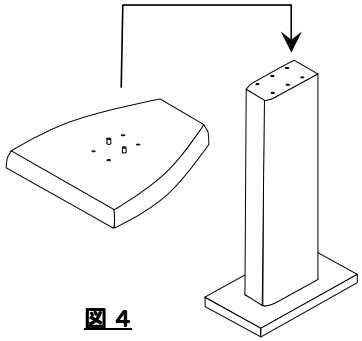


図 4

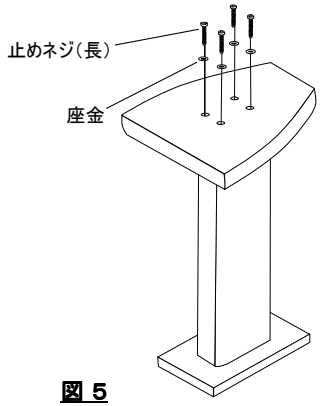


図 5

スパイクの取り付けと調整方法

⑧ スパイクと調節ネジの間にすき間がないように組み付けておきます。（図6拡大図）
⑨ スパイクのネジ部を底板のネジ穴にねじ込みます。
⑩ このとき、前面側の2本のスパイクは六角スパナでナットを締めておきます。
⑪ スタンドの上下を元に戻します。
⑫ スタンドを設置する場所に移動し、以下の手順で高さの微調整を行います。
　a）スタンドを軽く揺らします。
　b）後面側のスパイク2本のうち、揺らしたときに床とのすき間ができる方のスパイクを緩めます。
　c）もう一度、スタンドを軽く揺らして、すべてのスパイクが床に接地していることを確認します。
　d）b)で調節したスパイク側面の穴にスパイク調整ロッドを差込んで固定しておき、六角スパナでナットを締め付けます。上から見て反時計回りが締め付け方向です。（図7）
　e）後面側のもう一方のスパイクも、d)と同様に締め付けて作業は終了です。

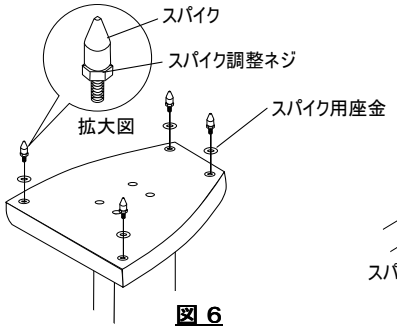


図 6

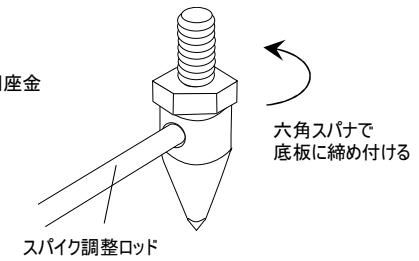


図 7

充填材の支柱への注入

⚠ 注意

※ ジルコンサンド等の充填材の支柱への注入は、すべて組み上がった状態で天板を外して行ってください。支柱単体の状態で注入すると、不安定で支柱が倒れる恐れがあるほか、充填材がこぼれやすくなります。充填材が入った支柱は重量が大きく、万が一倒れるとたいへん危険です。

※ 同梱した充填材は、スタンド製作段階で予め計量したのちに梱包しています。
したがいまして、予備用の充填材は作業時のこぼれがなければ注入の必要はございません。
また、こぼれてしまった時のために、新聞紙などを広めに敷いて作業を行ってください。

① 天板を取り外します。
② 注入用の穴（注入孔）に漏斗を差し込みます。（図8）
③ 紙コップなどで漏斗に流し込みます。
④ 充填材の残りがわずか（コップ1杯位）になったら、漏斗を外して軽くスタンドをゆすってください。
注入孔から見て、充填材が注入できるスペースがあることを確認しながら、少しずつ注入してください。
⑤ 注入が終わったら、ゴム栓を注入孔に差し込みます。（図9）
ゴム栓の上面が、支柱の上面より低くなるよう押し込んでください。
⑥ 支柱の上面に充填材がこぼれていないか確認します。
⑦ 天板を取り付けて、作業は完了です。

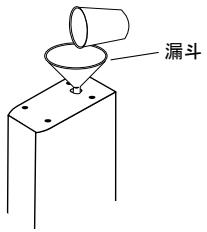


図 8

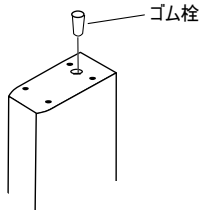


図 9

■保守と点検

① 組み立て1年後に、ネジのゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は増し締めしてください。
② スパイク仕様の場合、危険防止のため、分解して保管するときはスパイクを底板から外してください。
③ 汚れをふき取る際は、水をよく絞った柔らかい布で拭いてください。

kebkobo
けぶ工房
〒375-0054 群馬県藤岡市上大塚1425-1
0274-24-1063
http://www.kebkobo.com